

一歩前に出るたくましさ～6年生の感想より～

まず、不安・焦り・対立・葛藤があって、それを協働しながら乗り越えた姿

【森田遥乃さん】

私は、今年運動会で団長をしました。最初は、1～5年生に手びょうしなどを教える時に、きんちょうしてあまり声が出なかつたりして、**うまくいきませんでした**。ですが、周りの副団長や団員の**みんながサポート**してくれました。リハーサル前は、演舞やファイナルのところの手びょうしが難しくて、みんなちゃんとできるか**不安だった**けど、**みんなが一生懸命しているのはわかって**いたから「今は、できることをしよう」と思ってリハーサルをしました。もちろん、課題も見つかったけど、それ以上に、**最初より上達していてとてもうれしかった**です。

運動会本番、一番心に残っているのはやはり応援団のみんなとした応援演舞です。約3週間、**つまずいたり大変なことだ**ってあったりしたけど、これまで練習したすべてを出しきろうと思いつまづいたりがんばりました。終わった後、いろんな先生や見に来てくれたお母さんたちに「かっこよかったよ」「大きな声出たね」「がんばったね」など、たくさん声をかけてもらって**すごくうれしかった**です。それに、**すごい達成感**でした。後から動画をみても、みんな演舞がそろっていて、**一生けん命やったかいがあったな**と思いました。

運動会を通して、**人をまとめることの大変さ**を知りました。話す前に「こうしてこうしよう」と思っている、いざとなると、**なかなか思うようにいなくて、すごく難しかった**です。だから、学校の先生など、人をまとめる仕事をしている人は大変だろうなと思いました。今後は、縦割り班長や委員長をするときなど、**この経験を生かしていきたい**です。



困難を乗り越えた人、一生懸命に努力した人だけが味わうことができる達成感！

自分の成長を感じ、学びを次のステップに生かそうとする積極的な姿。一歩前へ！

【森田彩生さん】

私は運動会で、応援団をがんばりました。本番では、今までできていたところをまちがえてしまったので、もっと集中しておけばよかったと思いました。

また、応援団を通して、5年生と仲良くなれました。自分は教えることが苦手で、**大きなかべに何度もぶつかったけれど、そういうときには副団長を中心に、みんながアドバイスをくれて、副団長がかずとくんでよかった**と思いました。副団長とは**少しけんかになったりもしたけど、それもふくめて、練習の時間が楽しかった**です。この運動会で団長をしたことで、**集団のまとめ方や教え方を学ぶことができた**ので、**縦割り班などでいかしていきたい**です。

リレーでは4位になってしまつてとても悔しかったけれど、同じチームの人やリレーを見ていた赤団の低学年に「がんばったね」と言われたり、弟に「姉ちゃんよくやった」と言われたりして、**とてもうれしかった**です。

この学校には団長に任せきりにする人（他人任せにする人）がいなくて、1年生から6年生まで、全員が本気で取り組んでいて、頼りになると思いました。



一人ではなく、仲間と歩んだ道（過程）こそが、宝物になっていく。

「この学校には」と学校全体を見渡す視野を手に入れている。経験から来る成長！

【梶田朱花音さん】

私がかんばったことは、ソーラン節や応援団です。なぜなら、みんなで声出しをしたり、動きをそろえたりなど、**たくさん練習をした**からです。応援団では、初めて副団長をやりました。意見がそろわなかったり、動きがそろわなかったりして**悩むこともありました**。また、先生からアドバイスをもらっても、すぐにはできなくて**くやしかったこともありました**。それでも、団長を中心に、**応援団のみんなで話し合ったり、練習をたくさんしたり**しました。本番では、家族や先生などから「上手にそろっていたよ」と言われ、今までいろんなことがあったけれど、こうして**よい結果につながったからとてもうれしかったし、あきらめずに続けてよかった**なと思いました。

運動会を通して、**あきらめずに努力する心が成長**しました。これまでは、すぐにあきらめることがありました。でも、ソーラン節や応援団をやって、**努力をしたりあきらめたりしなければ、思い通りの結果にならなくても、どんよりとした気持ちにならないし、楽しく終わることができることを知りました**。この経験をいかして、**何事にも一生けん命取り組んでいきたい**です。そうすれば、できることも増えると思うし、**あきらめずに何度も挑戦**することで、いつかはできるようになると思います。



悔しくても、つらくても、あきらめずに努力を重ね、最後まで粘り強くやり遂げるたくましさ。

「何事にも一生懸命」「あきらめずに何度も挑戦」
自ら学び、つかみ取った「夢を育む」力！



突然お願いしたご来賓と子どもたちの玉入れ対決。歓喜する子どもたちの姿を喜んでいただいたことに、感謝の思いでいっぱいです。